

仙台防災未来フォーラム 2025 にて地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門の ブース展示を実施しました（2025/3/8）

テーマ：津波リスク評価, Eco-DRR, 防災教育, 防災国際標準化

会場：仙台国際センター（展示棟）

URL：<https://www.tsunami.irides.tohoku.ac.jp/jp/news/detail---id-655.html>

2025（令和7）年3月8日（土）に、仙台国際センターで世界防災フォーラム 2025 と同時に開催された仙台防災未来フォーラム 2025 において、災害科学国際研究所の地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門がブース展示を実施しました。

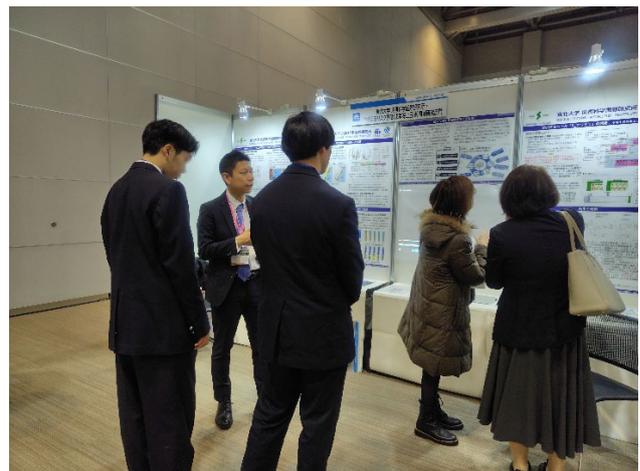
「仙台防災未来フォーラム」は、震災の経験や教訓を未来の防災につなぐため、市民が防災を学び、日頃の活動を発信するイベントとして開催され、11 回目となる今回は、「一人ひとりが 主役 とともに創ろう防災の輪」をテーマに、地域団体や企業、大学など、これまでで最多となる延べ 142 団体が参加し、市民の方に防災・環境をより身近に感じていただくためのさまざまなプログラムが実施されました。

今回、同寄附研究部門では、「復興と未来の防災を目指す産学連携の取り組み」をテーマに、①津波ハザード・リスク評価やその国際的な被害軽減に関する研究、②津波による生態系の攪乱の影響や Eco-DRR 等に関する研究、③防災学習ツール「D_アワタラ」の開発とその教育効果に関する研究、④防災に関する国際標準化（ISO）として当寄附研究部門が中心的な役割を果たして昨年 11 月に発行された ISO37179 の紹介と、幅広い内容のポスター展示を行い、更に、能登半島地震の津波を解析した最新の動画や、飛島での防災の紹介動画、当研究所が監修した東京海上日動の防災啓発動画を紹介しました。

当日は、サッパシー・アナワット准教授、内田典子助教、保田真理プロジェクト講師、鎌田健一特任教授（いずれも地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）により説明が行われ、多数の来訪者を迎えて盛況のうちに出展を終えました。なお、出展したポスターについては上記 URL のサイトに掲載されています。



ポスター・動画展示の様子



来場者に説明するサッパシー准教授（左から2人目）と保田プロジェクト講師（右から2人目）